

新しい生活様式

校長 関川 紀美子

6月も後半になりました。学年の畑では子どもたちが育てている野菜などがすくすくと育っています。毎朝水やりをする子どもたちの愛情をたっぷりと受けながらこれからも育っていくことでしょう。

通常授業が再開され給食も始まり、子どもたちはいつものように元気のよい姿を見せて、学習に励み友だちと遊び、学校生活を楽しんでいます。嬉しいかぎりです。しかし、新型コロナウイルスは、まだまだ収束していません。「新しい生活様式」の下、自分の命や周りの人の大切な命を守るために、ルールを守りながら、柔らかな心で生活していく必要があります。子どもたちもルールを守りながら学校生活を送っています。

保護者の皆様には朝の検温をはじめ、マスクの準備、手洗いうがい、食事や睡眠などお子様を支えていただいていることに心より感謝申し上げます。今後も引き続き、よろしく願いいたします。



6月の全校朝会で次のような話をしました。

みなさんと先生方が揃って、楽しく勉強したり遊んだりできるようになってとてもうれしいです。今まで当たり前だと思っていたことがとても宝物のように感じます。今日こうやって、ここにいられることをとても幸せに思います。



今日は3つのことを話します。

1つ目は、「自分から進んで」ということです。私たちは、子どもも大人も、これからも、コロナウイルスと闘っていかなければなりません。その時、人から言われたり、されたりするのをじっと待っているだけでは、自分や大切な人の命を守ることはできないのです。例えば、マスクをすることや手洗い・うがいもそう、人と人との距離をとるソーシャルディスタンスはもちろん、新しい生活様式のルールを守っていきましょう。「自分から進んで」ということを大切にしてほしいと思います。

2つ目は、「先生や友だちの話を聞く」ことを今まで以上に大切にしてほしいということです。感染防止のため、マスクをしています。大きな声で話すこともできません。だからこそ、小さな声で話す友だちや、一生懸命話そうとする友だちの声をしっかりと理解しようと、心で聞く努力をしてほしいと思います。

3つ目は、「優しい心」を大切にしてほしいということです。これまで何度かお話をしてきました。新型コロナウイルスに感染した人やその家の人のこと、病院で働く人医師や看護師さんことも悪く言う人たちがいてこまっているという話を聞いています。これは、いじめです。やってはいけません。病気を治そうと一生懸命になっている人たちばかりです。これからも「優しい心」でその人たちを励ます、みなさんでいてほしいと思います。

「自分から進んで」「先生や友だちの話を聴く」「優しい心」の3つのお話をしました。

